

第19回全国障害者生活支援研究セミナー

「共生社会」－ 障害者支援の現場は何をめざすのか!

日時 : 2018年2月17日(土)～2月18日(日)

会場 : 新宿NSビル NSスカイカンファレンス(30F)
 NS会議室(3F)

(東京都新宿区西新宿2-4-1)

主催 : 特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会(サポート研)

<http://support-ken.net/>

<全国障害者生活支援研究会(サポート研)事務局>

〒210-0848

神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608

TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp

担当 松永・加藤

第 19 回全国障害者生活支援研究セミナー開催要項

「共生社会」－ 障害者支援の現場は何をめざすのか！

●開催要項

私たち全国障害者生活支援研究会（サポート研）は、第 16 回 全国障害者生活支援研究セミナーで「本人中心支援と共生社会の構築」をメインタイトルにするなど、「共生社会」を重要なテーマのひとつとして活動を続けてきました。障害者が社会の中でごく当たり前の市民として生きていくために、我が国の現状ではまだまだ様々な形で権利が制約されています。障害者の権利条約が掲げる理念が十全に実現されているとは、残念ながら言いえない現実があります。「共生社会」というキーワードを私たちは、何よりも障害者の権利が実現される社会という、ひとつの社会デザインの理想的なイメージとして語ってきました。

一方で、平成 28 年 6 月 2 日に安倍内閣が閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」のキーワードのひとつとして「地域共生社会」という言葉が躍り出てきて、福祉関係者の耳目を集めています。厚生労働省の文書によると「地域共生社会」は以下のように定義されています。

【制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会】

私たちが手ずから育ててきた「共生社会」と言えば現行内閣の政策用語として編み出された「地域共生社会」は、何が同じで何が違うのか。障害者支援の現場を最前線で担っている仲間が一同に会して、熱い議論を戦わせたいと思います。

1 日目は、DPI 日本会議副議長の尾上浩二氏をお迎えして、基調講演『「共生社会」を考える ～本人中心の視点から』をお願いしました。引き続きパネルディスカッション『まぜこぜトーク～現場が創る共生社会とは？』を行います。パネリストは、中西昌哉 氏（ベテスダの家・京都）、奈良崎真弓 氏（本人会サンフラワー・神奈川）、下郡山和子 氏（つどいの家・宮城）の方々です。

2 日目は、分科会 1「意思決定支援」、分科会 2「サポートシステム」、分科会 3「エピソード記述」、分科会 4「行動障害」の 4 つの分科会に分かれて、テーマごとに議論を深め合います。

○主催

特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会（サポート研）

○後援（予定）

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会/社会福祉法人 東京都社会福祉協議会/東京都障害者通所活動施設職員研修会/社会福祉法人 全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会/一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会/公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会/公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会/一般社団法人 日本自閉症協会/日本障害フォーラム/特定非営利活動法人 東京都発達障害支援協会/特定非営利活動法人 日本障害者協議会/全国自立生活センター協議会/認定特定非営利活動法人 DPI 日本会議/きょうされん/全日本自閉症支援者協会/全国手をつなぐ育成会連合会

○参加対象者

障害者の生活支援にかかわる支援者の方 障害当事者とご家族の方 テーマに関心のある方
(手話通訳など何らかのサポートが必要な方は、申込み先までご連絡ください)

○募集定員

300名

○参加費（参加費・資料代）

【両日とも参加】正会員 10,000 円 情報会員 11,000 円 その他 12,000 円(学生 6,000 円) 懇親会費別途 5,000 円
【1日のみ参加】正会員 6,000 円 情報会員 6,500 円 その他 7,000 円(学生 3,500 円) 懇親会費別途 5,000 円

○申込締切

2018年1月26日（金）。1日目・2日目ともに、定員に達した段階で締め切らせていただきます。

○申込受付

参加申し込みは別添申込用紙にて、京王観光調布支店まで郵送またはFAXにてご送付下さい。

申し込み 問合せ先	京王観光 調布支店（担当：児玉） E-mail m.kodama@keio-kanko.co.jp 〒182-0024 東京都調布市布田 3-1-7 池田ビル5階 TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321
--------------	--

○日 程・会 場・内 容

◎1日目 2018年2月17日（土）

9:30~10:00	10:00~10:10	10:10~12:30	13:30~16:30	18:00~20:00
受 付	開会挨拶	基調講演	シンポジウム	懇親会
新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B（30F）				だん家

●全体会（10:00~17:00）

◇会 場 新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B（30F）

東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

（29F・30F専用シースルーエレベーターにて30Fへお越しく下さい。他のエレベーターは不可。）

◆開会挨拶（10:00~10:10）

赤塚 光子（当会会長）

◆基調講演（10:10~12:30）

「共生社会」を考える ～本人中心の視点から

尾上 浩二 氏（DPI日本会議副議長）

◆パネルディスカッション（13:30~16:30）

なぜこぜトーク～現場が創る共生社会とは？

パネリスト

中西 昌哉 氏（ベテスタの家・京都）

奈良崎 真弓 氏（本人会サンフラワー・神奈川）

下郡山 和子 氏（つどいの家・宮城）

助言者

尾上 浩二 氏（前掲）

コーディネーター

小林 博 氏（藤沢育成会・神奈川）

●懇親会（18:00~20:00）

◇会 場 「だん家」 新宿NSビル 29F

◎2日目 2018年2月18日(日)

*分科会2のみ9:15開始

9:00~9:30	9:30~12:00	13:00~15:30
受付	分科会	分科会
新宿NSビル NS会議室 3階会議室		

●分科会(9:30~15:30)

◇会場 新宿NSビル NS3階会議室 (3F)

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

(2日目の会場へは、エスカレーター又は低層階用エレベーターでお越しください。)

分科会1: 3M会議室

分科会2: 3J会議室

分科会3: 3H会議室

分科会4: 3G会議室

事務局: 3E会議室

※分科会は、後掲「各分科会のテーマ及び要旨」をご覧のうえ、いずれか一つをお選び下さい。

※会場は変更になる場合がございます。その際は、当日までにご案内いたしますのでご了承ください。

○セミナー事務局

＜全国障害者生活支援研究会(サポート研)事務局＞

〒210-0848 神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608 TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp 担当 松永・加藤

○会場アクセス

新宿NSビル

JR線・京王線・小田急線・東京メトロ丸の内線

新宿駅 「南口・西口」より徒歩7~8分

都営地下鉄線(新宿線)・京王新線

新宿駅 「新都心口」より徒歩約6~7分

都営地下鉄線(大江戸線)

都庁前駅 A3出口 より徒歩約3~5分

○会場周辺案内図



※ JR新宿駅南口より地下道ワンデーストリートを使いますと雨に濡れずにお越しになれます。

分科会 1 意思決定支援

◆ 本人の『声』を聴き、本人の主体、思いを支える関わりについて、実践から考える

分科会1では、「本人の思いを聴く」をテーマに、研究セミナーを行ってきました。本人主体は支援の基本ですが、実際の支援の場面において、本人の思いを聴き、本人の意思に応えるのは簡単なことではありません。

どんなに障害の重い人であっても、意思をもっています。そして、本人の意思を発現するためには、それを聞き取る存在を欠かす事ができません。相互的な関係により、より豊かにはっきりと本人の意思が立ち現れ、それに支援者はつき動かされて、実践を行います。本人の思いを聴き、本人に寄り添ってそれを実現することこそ意思決定の支援だと考えます。

意思決定の支援をめぐり、実践報告とグループ討議を行います。この分科会を通じて意思決定の支援についてより理解が深まり、日々の実践がより充実することを願います。

- * 当日は、本人の声を聴き、それに応える支援について実践や悩みをA4判一枚以内にまとめて、各自13部ずつ印刷してお持ちください。グループ・ディスカッションで使用します。氏名、住所など個人が特定できる文字は消す等、個人情報の保護にご注意ください。

- 9:00 受付開始
- 9:30 趣旨説明
- 9:40 実践報告「本人の思いを聴き、実現する支援」
発表者：佐々木 健 氏（仙台つどいの家・宮城）
- 10:40 休憩
- 10:50 グループ・ディスカッション① 自己紹介、事例報告
- 12:00 昼食
- 13:00 グループ・ディスカッション② 事例報告、感想
- 15:30 終了

分科会 2 サポートシステム

◆ 本気で実現しよう「地域の暮らし」

昨年の本分科会では、相模原事件をどのように受け止め、「ともに生きる社会」にむけて何をしなければならないのかを各地の支援者の皆さまから語っていただきました。

今回はそのことを引き継ぎながら、地域の暮らしを本気で実現していくためのエネルギーを蓄え、それぞれの実践の場にもちかえる機会にできればと考えています。

午前は、神奈川県共生社会推進課の意思決定支援アドバイザーとしてもやまゆり園利用者の支援にも関わっている鈴木敏彦さん（和泉短大）から、やまゆり園利用者の意思決定支援の現状と課題を、そして岡部耕典さん（早稲田大）からは、重度訪問介護を使いながら地域で暮らしている重度知的障害／自閉の息子さんの暮らしを紹介してもらいながら「意思決定支援」についてともに考えてみたいと思います。

午後は山西孝さん（白樺園）、丸中愉可さん（さくら草）のお二人から地域の暮らしを創る実践報告を受け、全体での討論を行えたらと思います。ぜひ多くの皆さまの参加をお待ちしています。

- 9:00 受付開始
- 9:15 分科会趣旨説明 柴田 洋弥 氏 (サポート研顧問・東京)
- 【午前の部】 テーマ：地域の暮らしと意思決定支援
- 9:20 講演Ⅰ 鈴木 敏彦 氏 (和泉短期大学教授・神奈川県障害者自立支援協議会会長)
～津久井やまゆり園利用者の意思決定支援の現状と課題～
- 10:30 講演Ⅱ 岡部 耕典 氏 (早稲田大学教授)
～共同決定／共同責任による当事者主体の「支援を受けた意思決定」～
- 11:40 昼食
- 【午後の部】 テーマ：地域の暮らしを支える実践
- 12:30 報告1 地域の暮らしを目指して 山西 孝 氏 (白樺園・山梨)
- 12:50 報告2 地域の暮らしを支える 丸中 愉可 氏 (さくら草・埼玉)
- 13:30 全体でのディスカッション
指定発言
田口 道治 氏 (デイセンターあゆみの家・岐阜)
中西 昌哉 氏 (ベテスダの家・京都)
助言：鈴木 敏彦 氏、岡部 耕典 氏
コーディネーター：藤内 昌信 氏 (だれもがともに小平ネットワーク・東京)
- 15:30 終了

分科会3 エピソード記述

◆ 利用者支援の本質を求めて ～「こだわり」のある方の事例から考える～

今回のエピソード記述研究会は、従来の鯨岡先生の講義とエピソード記述の発表という形式から離れて、利用者支援の本質とは何か、支援の上で大切にしなければならないものは何かについて考えるという試みをしてみます。

今までも鯨岡先生のお話から、自分と相手との間にある接面を通じて、了解し合ったり、心が通じたり、わかり合ったりできるのではないかということを学んできました。そしてエピソード記述を使って利用者支援について自分の気持ちも交えて記述することで、支援者は利用者の心や気持ちを捉えようとし、分かり合えた瞬間に出会うことができました。まさに支援の本質について考えてきたのだと感じます。

今回はエピソード記述研究会の中心メンバーであり、エピソード記述や関係発達などの交流を通じて鯨岡先生からの信頼も厚い、金沢信一さんと加藤啓一郎さんのお二人から、それぞれが考える支援の本質やその支援方法などを「こだわり」に着目して考えていこうということにしました。「こだわり」をどのように捉え、どのように理解して支援するのかを事例も用いて考えることで、本当に大切な支援についての考え方が見えてくると思います。ぜひ一緒に考えていきましょう。多くの方のご参加をお待ちしております。

- 9:00 受付開始
- 9:30 あいさつ・趣旨説明 坂田 晴弘 氏 (国分寺市障害者センター・東京)
- 9:45 講義・事例報告「こだわりのある方の事例から支援の本質を考える①」
講師：加藤 啓一郎 氏 (ワークセンター豊新・大阪)
- 11:30 質疑応答・まとめ
- 12:00 昼食
- 13:00 講義・事例報告「こだわりのある方の事例から支援の本質を考える②」
講師：金沢 信一 氏 (大田福祉作業所・東京)
- 14:45 質疑応答・まとめ
- 15:15 全体まとめ・事務連絡 安藤 真洋 氏 (社会福祉法人武蔵野・東京)
- 15:30 終了

分科会 4 行動障害

◆ 行動障害のある人の本当の思いの理解に向けて ～ 行動対応 vs 意味了解的アプローチ

これまで本分科会は、「本人主体の支援とは」というテーマのもと、「行動障害」に焦点を当て、「どんな行動にも意味がある」「行動障害はつくられる」という認識に立ち、幼児期、学齢期、成人期を通して、本人の立場に立った理解と支援のあり方を追求してきました。

昨年は、今一度支援の基本を確認し、今後私たちが向かうべき方向を明確にするために、従来積み重ねてきた取り組みを「意味了解的アプローチ」として提示しました。本人が納得できる生活を送るには、「こだわり、自傷、攻撃行動、多動」といった行動を「厄介な行動」と見るのではなく、精一杯の訴え・表現と捉えて、背景にある本当の思いを理解する必要があります。支援者が本人の心とその動きにしっかり目を向け、細やかな配慮と知恵を合わせて考える場ができれば、本人は必ず安心感を持ち、人への信頼や自尊感情を育む（あるいは取り戻す）方向に歩み出します。支援者の心にも「気持ちを通じ合う喜び」が生まれます！

ところが実際は、行動が極端で激しい、意味が分かりにくいので、支援者も保護者も否応なしに表面的行動への対処に追われてしまいます。そのためか、障害者福祉においては、外から行動をコントロールする方法や能力促進に向けた指導訓練が広がっています。

今回は、そうしたやり方によって生じやすい問題を取り上げつつ、本人も支援者も納得のいく支援のあり方を共に考えます。また深い人間理解をめざして、重度重複障害のある人への支援からも学びたいと思います。

幼児期、学齢期、成人期の支援に携わる多くの方々のご参加をお待ちしています。良い支援には、基本となる「支援の視点」を共有できるチームワーク作りが不可欠です。単独の参加だけでなく、各事業所から複数の職員の参加をお勧めします。

- 9:00 受付開始
- 9:30 趣旨説明 辻田 剛己 氏（社会福祉法人ふじの郷 さつき学園・静岡）
- 9:45 講演Ⅰ 「本人の本当の思いを理解し支える～意味了解的アプローチ」
講師 岩崎 隆彦 氏（社会福祉法人水仙福祉会 姫島こども園・大阪）
- 11:15 講演Ⅱ 「重複障害のある人の支援において欠かせないもの」
講師 江澤 宏之 氏（NPO 法人つどい 重度身体障害者グループホームきぬた・東京）
- 12:00 昼食
- 13:00 全体で話し合い
「深い人間理解をめざして～各事業所の取り組みを振り返ろう」
- 15:15: まとめ 赤塚 光子 氏（当会会長）
- 15:30 終了

第19回 全国障害者生活支援研究セミナー

セミナー・懇親会参加及び宿泊申し込みのご案内

会議の参加及び宿泊の申し込みは、京王観光株調布支店が代行させていただきます。
お申し込みは別紙申込書で郵送又はFAXにてお願い致します。

- ★ セミナー日程 2018年2月17日(土)～2月18日(日)
- ★ セミナー会場 2月17日(土) 新宿NSビル スカイカンファレンス ホールA・B
2月18日(日) 新宿NSビル NS会議室
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル TEL 03-3342-3755
- ★ 参加費 【両日参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円
一般 12,000円(学生6,000円)
【1日のみ】正会員 6,000円 情報会員 6,500円
一般 7,000円(学生3,500円)
- ★ 懇親会 費用 5,000円 場所:新宿NSビル 29F「だん家」
- ★ その他 遠方からのお越しで宿泊希望の方は宿泊手配を承ります。
2018年2月16日(金)～2月17日(土)を含む2泊


〔ご宿泊施設〕※お部屋タイプはシングルルームのみの設定となります

新宿ワシントンホテル (新宿駅西口駅徒歩約8分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約3分</small>	〒160-8336 東京都新宿区西新宿3-2-9		TEL 03-3343-3111 FAX 03-3342-2575	
	2/16(金)泊	@17,000円	2/17(土)泊	@17,000円
セントラルホテル東京 (新宿駅中央東口駅徒歩約1分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約15分</small>	〒160-0022 東京都新宿区新宿3-34-7		TEL 03-3354-6011 FAX 03-3355-4245	
	2/16(金)泊	@14,800円	2/17(土)泊	@16,000円
イビス東京新宿 (新宿駅西口駅徒歩約5分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約15分</small>	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-5		TEL 03-3361-1111 FAX 03-3369-4216	
	2/16(金)泊	@17,500円	2/17(土)泊	@17,500円
サンメンバーズ東京新宿 (新宿駅西口駅徒歩約10分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約5分</small>	〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-13		TEL 03-3349-8601 FAX 03-5322-7453	
	2/16(金)泊	@13,500円	2/17(土)泊	@15,000円

ご宿泊取消料のご案内(宿泊日を基準とします)

取消日	30～15日前	14～08日前	07～04日前	03～02日前	前日	当日
取消料率	10%	15%	30%	50%	80%	100%

- ★ お申し込み方法
セミナー及び宿泊のお申し込みは、京王観光株調布支店あて別紙申込書で郵送又はFAXにて1月26日(金)までにお申し込みください。参加受付後、参加書類及び費用振込み案内を2月上旬頃送付させていただきます。
- ★ お問い合わせ先

 **京王観光** 京王観光株調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当: 児玉

営業時間: 月～金曜日 9:00～18:00(土・日・祝日はお休みです)

第 19 回 全国障害者生活支援研究セミナー申込書

申込日： 年 月 日

お申込締切日：2018年1月26日（金）必着

★ ご注意：申込書のコピーをお控えとしてお取下さい。

都道府県名		勤務先				
参加書類等 送付先	〒 _____					
			TEL	()	FAX	()
参加者氏名（ふりがなをふってください）		役職	区分	参加希望日	希望分科会	懇親会
ふりがな	男・女		正会員	2月17日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月18日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月17日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月18日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月17日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月18日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		

宿泊希望	宿 泊 日		希 望 ホ テ ル		部屋タイプ
有 無	2/16(金) (前泊)	2/17(土) (当日泊)	第一希望： 第二希望：		1・シングル 2・ツイン (どちらかに○印をお付け下さい)

★ 各ホテルの部屋数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい

★ 上記申込書に必要事項をご記入の上、下記あてに郵送又はFAXにてお申し込み下さい。

お申し込み先 **KEIO 京王観光** 京王観光株調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田 3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当：児玉

営業時間：月～金曜日 9：00～18：00（土・日・祝日はお休みです）